Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.28　2018年5月

No. 28

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
http://www.kurilon.co.jp/
心が豊かであるために・・・
KURILON Work Shop
http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/
Art Space
画空間
http://www.a-kukan.com/

岡山工場・岡山営業所完成

岡山事業所に新事務所棟が竣工しました！

昨年より建設を進めてまいりました岡山事業所（岡山工場・岡山営業所）の新事務所棟が完成し、2018年2月28日に竣工式、3月29日には落成式が執り行われました。

1963年の岡山工場創設当初から、54年の長きにわたり慣れ親しんできた事務所棟ですが、2016年の岡山営業所再設（1999年閉鎖）の決定を受け、事務所棟も新たに建設することとなりました。

岡山営業所の方は新事務所棟の起工に先立ち、2017年7月より旧事務所棟でスタート。新卒事務社員と工場事務も含めると、ずいぶん大所帯となりました。

構想から2年、新しい事務所棟は、のどかな田園風景の中でもひときわ目をひくモダンな建物です。

1階に事務所、2階に桃太郎製袋株式会社、3階には食堂と会議室、ラウンジもできました。3階のラウンジから眺める景色は四季折々の色彩を楽しめるようになっております。

岡山事業所で社員一同が知恵と工夫を出し合い、「協働を通して、社員の職能と人格が共に秀でていく企業」を目指し、精進していきます。

今後は多くの方々をお迎えするべく、おもてなしの心で皆様をお待ちしております。是非お立ち寄りください。

岡山納期管理課　矢部　真希

3Fのモダンなラウンジ

ミモザまつり

Festa Della Donna

2018年3月7日、My空間にて「ミモザまつり」が開催されました。このイベントは、My空間が運営するミモザバレエサークルによるもので、教室の生徒さんたちがミモザの花でブーケを作り、大好きなお母さんにプレゼントをするというものです。

イタリアで翌8日は「Festa Della Donna（フェスタ・デラ・ドンナ＝女性の日）」とされ、男性が日ごろの感謝を込めて、母親や奥さん、会社の同僚などにミモザを贈ります。このことから「ミモザの日」とも呼ばれるようになりました。

愛と幸福を呼ぶと言われるミモザを贈られた女性たちは、そのミモザを誇らしげに胸や髪に飾ります。また、家事や育児から解放され、女性同士で外食したり、おしゃべりに興じたりして束の間の自由を楽しみます。

「ミモザまつり」当日は、3～12歳の女の子たちとそのお母さん方、計25名もの方々が参加して下さいました。

生のミモザの花を束ね、添え花に好みのフェイクフラワーを1輪。それを黄色のラッピング用紙に包み、好きな色のリボンをつけ、カードにメッセージを書いて添えます。

似顔絵を描く子、ハートをたくさん描く子、悩みながら長い手紙を書く子など、一生懸命な姿がたくさん見られました。小さな手で初めてのブーケ作りをした子も多くいたと思います。

手作りのブーケをもらった時の嬉しそうなお母さん方の笑顔、それを見た子供たちの充実感に満ちた表情がとても印象的でした。

「ミモザまつり」は初めての試みでしたが、ミモザの花がちょうど満開で会場は黄色一色に染まり、大変素晴らしいイベントとなりました。

画空間　加藤　麻衣子

新年度 入社式を迎えて

社長からの祝辞

2018年4月2日、暖かい春の陽気に包まれて、2018年度クリロン化成株式会社入社式が行われ、北海道製造課、大阪製造課、岡山製造課、そして九州営業所に高卒新入社員8名が新たな仲間として加わりました。

開会の辞で取締役 栗原和志は、当社が大切にしているフロンティアスピリッツについて触れ、新入社員が会社と共に成長し、チャレンジしてくれることを期待する旨を述べました。

栗原清一社長からは、新人の元気な挨拶が先輩社員のやる気を促すことを例に挙げ、新入社員だからこそできる協働能力があること、人の力を引き出せることを伝え、働くことで必ず花が開き、意味のある人生を歩むことができるとの祝辞が贈られました。

さらに各配属先の先輩社員より歓迎と激励の言葉がつづき、新入社員は期待と不安に胸を膨らませながら、真摯に受け止めているようでした。

贈られた言葉に応え、新入社員代表から「学生時代の部活動を通して培った粘り強さを活かして頑張りたい」と意欲に満ちた答辞があり、入社式は滞りなく終わりました。

その後、夕方から本社食堂にて開かれた懇親会は、多くの社員が参加して大いに盛り上がり、新入社員も緊張がほぐれたようでした。

新入社員は翌日より、大阪本社で2週間の全体研修、その後は各地配属先での実務研修が始まります。

今日のこの日を忘れずに、成長し活躍してくれることを期待します。

総務部　辻　優衣子

大阪本社正門の前で

『下村式 漢字の教え方』が出版されます

クリロンワークショップより2016年に出版された『下村式ひらがなの教え方』の続編となる『漢字の教え方』が6月に刊行される予定です。漢字の本は昨年に大人向けのものを2冊刊行しましたが、今回は漢字を学ぼうとするまたは学んでいる子供をもつ親向けの指導書となります。

「下村式」ですから口唱法ということはもちろん、加えて単なる詰め込みや受験対策ではなく、漢字を通して知恵を育み最終的に日本人としてどう漢字に向き合い漢字を大切にしていくかを投げかける内容です。

また、これまでに出版したひらがな・漢字の書籍には、海外で日本語を教える方々からもうれしい感想が届いており、成り立ちから学ぶことにより、意味のみならず文化や背景にまで触れることができると評価されています。

正しく覚え美しく書く。あまりに当たり前のことですが、私たちも母国語としてもう一度振り返ってみたいものです。

画空間　近　ゆうみ

A5版　272頁
価格未定
全国の書店・Amazonで発売予定

『カレンダー制作に対する思い』

2019年度のカレンダー制作が始まりました。今年の額装されたカレンダーをバックに打ち合わせをする蔡國華先生と凸版印刷の日南山氏。来年はどんなカレンダーになるか、早くも楽しみです。

今年のカレンダーは、裸婦クロッキーを銀一色で表現しています。

一色の中にも、一度刷り・二度刷りの部分を設けて銀色に強弱を付け、奥行きやリズム感を演出しました。

銀色にこだわったきっかけは蔡國華先生の数あるクロッキーの中で、黒い紙に銀ペンで描かれた裸婦が、ひときわ印象深かったことに始まります。

チャレンジ精神に富み、新しいもの・面白いものを追い求める画空間の皆様が、稀有な作品にまで昇華させ、昨年に引き続き全国カレンダー展での入賞に至っています。

創意工夫を凝らして生み出されたカレンダーを、ぜひご高覧ください。

凸版印刷株式会社　日南山　貴司